

## 監理団体の業務の運営に関する規程

事業所名／北陸ロードサービス事業協同組合

### 第1 目的

この規程は、外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律及びその関係法令（以下「技能実習関係法令」という。）に基づき、本事業所において監理事業を行うために必要な事項について定めるものです。

### 第2 求人

1 本事業所は、技能実習関係法令に基づく、取扱職種の種類等の技能実習生の受入れを、北陸ロードサービス事業協同組合の構成員である企業（組合員）からの求人の申込みについてこれを受理します。

ただし、その申込みの内容（賃金、労働時間その他の労働条件）が通常の労働条件と比べて著しく不相当であると認める場合、又は法令に違反する場合、団体監理型実習実施者等が労働条件等を明示しない場合等は、その申込みを受理しません。

2 求人の申込みは、団体監理型実習実施者（団体監理型実習実施者又は団体監理型実習実施者になろうとする者をいう。以下同じ。）又はその代理人の方が直接来所されて、所定の求人票及び所定の添付書類と共にお申し込みください。直接来所できないときは、郵便、ファックス又は電子メールによるお申込みでも差し支えありません。

3 求人申込みの際には、業務の内容、賃金、労働時間、その他の労働条件をあらかじめ書面の交付又は電子メールの使用により明示してください。ただし、紹介の実施について緊急の必要があるため、あらかじめ書面の交付又は電子メールの使用による明示ができないときは、当該明示すべき事項をあらかじめこれらの方法以外の方法により明示してください。

### 第3 求職

1 本事業所は、技能実習関係法令に基づく、取扱職種の種類等の技能実習に限り、求職の申込みについてこれを受理します。

ただし、その申込みの内容が法令に違反する場合には受理しません。

2 求職申込みは、団体監理型技能実習生等（団体監理型技能実習生又は団体監理型技能実習生になろうとする者をいう。以下同じ。）又はその代理人（外国の送出国から求職の申込みの取次ぎを受けるときは、外国の送出国）から、所定の求職票によりお申し込みください。郵便、電話、ファックス又は電子メールで差し支えありません。

### 第4 技能実習に関する職業紹介

1 団体監理型技能実習生等の方には、職業安定法第2条にも規定される職業選択の自由の趣旨を踏まえ、その御希望と能力に応ずる職業に速やかに就くことができるよう極力お世話いたします。

2 団体監理型実習実施者等の方には、その御希望に適合する団体監理型技能実習生等を極力お世話いたします。

3 技能実習職業紹介に際しては、団体監理型技能実習生等の方に、技能実習に関する職業紹介において、従事する業務の内容、賃金、労働時間その他の労働条件をあらかじめ書面の交付又は電子メールの使用により明示します。ただし、技能実習に関する職業紹介の実施について、緊急の必要があるため、あらかじめ書面の交付又は電子メールの使用による明示ができないときは、あらかじめそれらの方法以外の方法により明示を行います。

4 いったん求人、求職の申込みを受けた以上、責任をもって技能実習に関する職業紹介の労をとります。

5 本事業所は、労働争議に対する中立の立場をとるため、同盟罷業又は、作業閉鎖の行われている間は団体監理型実習実施者等に、技能実習に関する職業紹介を致しません。

### 第5 団体監理型技能実習の実施に関する監理

1 団体監理型実習実施者が認定計画に従って技能実習を行わせているか等、監理責任者の指揮の下、主務省令第52条第1号イからホまでに定める方法（団体監理型技能実習生が従事する業務の性質上当該方法によることが著しく困難な場合にあつては、他の適切な方法）によって3ヶ月に1回以上の頻度で監査を行うほか、実習認定の取消し事由に該当する疑いがあると認めるときは、直ちに監査を行います。

2 第1号団体監理型技能実習に係る実習監理にあつては、監理責任者の指揮の下、1ヶ月に1回以上の頻度で団体監理型実習実施者が認定計画に従って団体監理型技能実習を行わせているかについて実地による確認（団体監理型技能実習生が従事する業務の性質上当該方法によることが著しく困難な場合にあつては、他の適切な方法による確認）を行うとともに、団体監理型実習実施者に対し必要な指導を行います。

3 技能実習を労働力の需給の調整の手段と誤認させるような方法で、団体監理型実習実施者等の勧誘又は監理事業の紹介をしません。

4 第1号団体監理型技能実習にあつては、認定計画に従って入国後講習を実施し、かつ、入国後講習の期間中は、団体監理型技能実習生を業務に従事させません。

5 技能実習計画作成の指導に当たって、団体監理型技能実習を行わせる事業所及び団体監理型技能実習生の宿泊施設を実地に確認するほか、主務省令第52条第8号イからハに規定する観点から指導を行います。

6 技能実習生の帰国旅費（第3号技能実習の開始前の一時帰国を含む。）を負担するとともに技能実習生が円滑に帰国できるよう必要な措置を講じます。

7 団体監理型技能実習生との間で認定計画と反する内容の取決めをしません。

- 8 実習監理を行っている団体監理型技能実習生からの相談に適切に応じるとともに、団体監理型実習実施者及び団体監理型技能実習生への助言、指導その他の必要な措置を講じます。
- 9 本事業所内に監理団体の許可証を備え付けるとともに、本事業所内の一般の閲覧に便利な場所に、本規程を掲示します。
- 10 技能実習の実施が困難となった場合には、技能実習生が引き続き技能実習を行うことを希望するものが技能実習を行うことができるよう、他の監理団体等との連絡調整等を行います。
- 11 上記のほか、技能実習関係法令に従って業務を実施します。

#### 第6 監理責任者

- 1 本事業所の監理責任者は、高田 勝 です。
- 2 監理責任者は、以下に関する事項を統括管理します。
  - (1) 団体監理型技能実習生の受入れの準備
  - (2) 団体監理型技能実習生の技能等の習得等に関する団体監理型実習実施者への指導及び助言ならびに団体監理型実習実施者との連絡調整
  - (3) 団体監理型技能実習生の保護
  - (4) 団体監理型実習実施者等及び団体監理型技能実習生等の個人情報の管理
  - (5) 団体監理型技能実習生の労働条件、産業安全及び労働衛生に関し、技能実習責任者との連絡調整に関すること
  - (6) 国及び地方公共団体の機関、機構その他関係機関との連絡調整

#### 第7 監理費の徴収

- 1 監理費は、団体監理型実習実施者等へ事前に用途及び金額を明示した上で徴収します。
- 2 団体監理型実習実施者等と団体監理型技能実習生等との間における雇用関係の成立のあっせんに係る事務に要する費用（募集及び選抜に要する人件費、交通費、外国の送出国機関へ支払う費用その他の実費に限る。）が発生した場合は監理費（職業紹介費）として徴収します。
- 3 入国前講習に要する費用にあつては入国前講習の開始日以降に、入国後講習に要する費用にあつては入国後講習の開始日以降に、団体監理型実習実施者等から、監理費（講習費）としてかかる費用を徴収します。

その額は、監理団体が実施する入国前講習及び入国後講習に要する費用（監理団体が支出する施設使用料、講師及び通訳人への謝金、教材費、第1号団体監理型技能実習生に支給する手当その他の実費に限る。）の額を超えない額とします。
- 4 監査指導に要する費用にあつては、団体監理型技能実習生が団体監理型実習実施者の事業所において業務に従事し始めた時以降、一定期間ごとに当該団体監理型実習実施者から、監理費（監査指導費）としてかかる費用を徴収します。

その額は、団体監理型技能実習の実施に関する監理に要する費用（団体監理型実習実

施者に対する監査及び指導に要する人件費、交通費その他の実費に限る。）の額を超えない額とします。

- 5 その他の費用が必要となった時、団体監理型実習実施者等から、監理費（その他諸経費）としてかかる費用を徴収します。

その額は、その他技能実習の適切な実施及び技能実習生の保護に資する費用（実費に限る。）の額を超えない額とします。

#### 第8 その他

- 1 本事業所は、国及び地方公共団体の機関であつて技能実習に関する事務を所掌するもの、外国人技能実習機構その他関係機関と連携を図りつつ、当該事業に係る団体監理型実習実施者等又は団体監理型技能実習生等からの苦情があつた場合には、迅速に、適切に対応いたします。
- 2 雇用関係が成立しましたら、団体監理型実習実施者等、団体監理型技能実習生等の両方から本事業所に対して、その報告をしてください。また、技能実習に関する職業の紹介をされたにもかかわらず、雇用関係が成立しなかったときにも同様に報告をしてください。
- 3 本事業所は、団体監理型技能実習生等又は団体監理型実習実施者等から知り得た個人的な情報は個人情報適正管理規程に基づき、適正に取り扱います。
- 4 本事業所は、団体監理型技能実習生等又は団体監理型実習実施者等に対し、その申込みの受理、面接、指導、技能実習に関する職業紹介等の業務について、人種、国籍、信条、性別、社会的身分、門地、従前の職業、労働組合の組合員であること等を理由として差別的な取扱いは一切いたしません。
- 5 本事業所の取扱職種等の範囲等は、別紙に定めるとおりです。
- 6 本事業所の業務の運営に関する規程は、以上のとおりですが、本事業所の業務は、全て技能実習関係法令に基づいて運営されますので、御不審の点は係員に詳しくお尋ねください。

2017年6月1日

北陸ロードサービス事業協同組合  
代表理事 高田 勝



(別紙)

北陸ロードサービス事業協同組合

## 監理費表

費用については適切に精算し実費を徴収します。(表示の金額は目安額)

(単位:円)

種類	内容	科目	見込み額	備考
職業紹介費	①募集・選抜に要する費用	人件費 交通費 通信費・書類費	30,000～60,000  実費 5,000～15,000	・実習実施者および送出し機関等の連絡・調整および実習生の選抜に要する人件費・事務諸経費・交通費・通信費等。(人員数、選抜人数等により費用変動)
	②送出し機関へ支払う費用	人件費・事務費・管理費	180,000～360,000	・選抜に要する人件費、事務諸経費、実習生送出し管理費、母国健康診断費を含む。実習生1名あたりの費用。(送出国により費用変動)
講習費	入国前講習費	講習委託費	10,000～15,000	・実習生1名あたり費用
	入国後講習費	施設費	60,000	・講習施設40,000、宿泊施設20,000 ・実習生1名あたり費用
		講師謝金	20,000	・実習生1名あたり費用
		通訳謝金	5,000～10,000	・実習生1名あたり費用 ・通訳者により費用変動
		教材費	5,000	・実習生1名あたり費用
		講習手当	60,000～70,000	・実習生1名あたり費用 ・送出国の条件により費用変動
監査指導費	実習実施者に対する 監査および指導に要する費用	交通費	実費	・移動に要する費用の実費
		人件費	15,000～45,000	・実習生1名あたり費用 ・人員数等により変動
		通訳謝金	5,000～10,000	・実習生1名あたり費用 ・通訳者により費用変動
その他諸経費	技能実習生の渡航・帰国費	交通費	実費	・入帰国時の往復費1人あたり費用 ・季節、燃油サーチャージ、国により変動
	技能実習生の国内移動費	交通費	実費	・入帰国、配属等1人あたり費用 ・移動区間、手段により変動
	実習実施者・技能実習生の 相談支援費	交通費・人件費・その他	30,000～150,000	・相談支援の方法や対応内容(送 出し機関の指導者来日等)により変動
	技能実習生総合保険	保険料	11,130～24,720	・実習生1名あたり費用 ・13か月または37か月保障タイプ ・実習生の病気等に備えるもの
	JITCO賛助会費	諸会費	50,000～75,000	・実習実施者の資本金の額による。 (年会費)
	在留資格等の作成・取次費	事務諸経費	5,000～18,000	・書類作成、JITCOの点検・取次サー ビス利用、通信費等
	入国後(採用時)検診	健康診断費	6,000～12,000	・実習生1名あたり費用 ・実習開始前に受診を希望する場合
	宿舍管理・指導費	交通費等・その他	2000～	・実習生1名あたり費用 ・宿舍管理を組合が行う場合のみ
	選抜時の実習実施者の渡航費	交通費等・その他	実費	・組合が手配・立替した場合は1人 あたり渡航費実費(人数により変動)